

熱中症発症者や疑いのある者等の早期発見の方法、周知方法
熱中対策バンドと現場内定時放送

事例

内装職

職長+熱中症既往者：I-BOW

熱中対策バンドI-BOW

異常を感じたとき

深部体温異常アラーム

体温が37.8度以上になると、赤色のライトが点滅し、アラーム音とバイブレーションで異常をお知らせします。
 赤色ライト：3回/秒、アラーム音：1秒/1回
 振動：1秒おきに振動と停止を1分間繰り返します。

※リスクを感じると、アラームで塩分・水分補給や涼しい場所での休息を促す

躯体・外装職

職長+熱中症既往者:ウォッチカナリア

赤色に点灯

熱中症リスクを感知と光と音でお知らせ

緑色に点灯

水分・水分補給や涼しい場所での休憩

光が緑に変わったら作業復帰

☆身体の熱のごもり 具合を検知
 ☆自覚症状が現れる前に感知して、アラームとLED表示
 ☆防水・防塵
 ※リスクを感じると、アラームで塩分・水分補給や涼しい場所での休息を促す

概要

区分	建築	職種	全種
----	----	----	----

- ①過去に熱中症になったことのある方を中心に装着させ、熱中症になる前に水分補給や休憩ができるように対策しました。
- ②現場内に放送設備を整備して、午前10時、午後3時に水分補給を行う定時放送をしました。

効果

- ①装着している時計から大きな音が鳴るので、周囲にも分かりやすく、熱中症になる前に対策できた。
- ②水分補給忘れ防止に役立ちました。